

第266回 謳粹会の記

令和4年12月8日(木) 18:30～

今日はよく晴れ気温が15℃を越え小春日和である。師走に入った。

中国が3年間続けていたゼロコロナ政策を住民の不満と経済の悪化の危機感から軌道修正に動いた。

8日の日本のコロナ感染者数は第8波に入り132,989人と増加傾向が続く。

令和4年もコロナ禍の1年となった。謳粹会は1～5月は休会となったが6月の260回から毎月開催が出来、266回を迎えることが出来た。

今年も色々な出来事があった。2月24日のロシア、ウクライナ侵略開始、穀物価格・原油価格が急騰。7月8日安倍元首相銃撃され死亡。統一協会への恨みから。10月に入ると食料品の一斉値上げ。10月20日ドルが150円台となり32年ぶりの円安。11月国連は世界人口が80億人に達したと発表。。



今回の参加者は10名となった。お店は茗荷谷にある花上さんの母校筑波大学同窓会・茗溪会の殿堂「茗溪会館」にある「^{かのびめいけいかん}嘉ノ雅茗溪館」である。ゆったりとしたテーブル席に陣取った。定刻になった。各自に生ビールが運ばれ花上さんの音頭で乾杯をする。ワインが進みそうな前菜が運ばれる。生ハム・鴨ロース・スモークサーモン・キッシュ・タコのマリネ・レバーペースト・白インゲン煮込・生野菜のプレート。各自、赤・白ワインや瓶ビールを注



文し和やかな会談が始まる。パスタが運ばれ少しお腹が満たされると、杯が進む。少人数が効を奏し楽しい話題が続く。メイン魚料理はサワラ焼魚、トマト・ヤングコーン・ブロッコリー・グリーンアスパラガス・ピーマンの温野菜添え、肉料理は同じ温野菜添えのステーキとなった。美味しい料理とお酒に満足の顔が広がった。19時40分頃に苺のデザートと珈琲(紅茶)が運ばれてきた。桜井さんの締めの挨拶のあと、皆で記念写真を撮り、お開きは20時となった。夜空には今年最後の満月が出ていた。

次回、第267回謳粹会は令和5年1月12日(木)に開催される。

<廣瀬(欠席)記>